

生涯教育研修活動報告書

生理検査研究班

- 1 実施日時：2024年6月15日 13時00分～16時30分
- 2 会場：BearMedi 事務所 教科・点数：専門教科ー20点
- 3 主題：第1回エコーハンズオン 心エコー基本断面から計測 ～初心者向け～
- 4 講師：野村 和弘（埼玉医科大学病院）
- 5 協賛：無し
- 6 参加人数：会員 9名 賛助会員 0名 非会員 0名
- 7 出席した研究班班員：野村和弘、南雲涼太、島内一輝

8 研修内容の概要・感想など

埼玉県臨床検査技師会生理検査研究班研修会としては約5年ぶりに超音波検査の実技講習会を企画した。超音波検査装置は1台、参加者は6名、スタッフ3名で開催した。一般に超音波検査のハンズオンセミナーは超音波検査装置1台につき3～5名であるが、予算の関係や1人でも多くの参加者に受けてもらいたいという意図で参加者6名という形をとった。

初心者を対象とし、心臓超音波検査における基本断面、基本的な計測項目の測定方法を中心に講義をしたのち実技講習をおこなった。傍胸骨左室長軸像・短軸像、心尖部四腔像・三腔像・二腔像、下大静脈についてアプローチ方法、正しい断面を描出するコツを野村氏が装置を使用し説明したのち、実際に参加者が描出をおこなう形で講習を進行した。

プローブを握り、出ている画像についてその場でアドバイスを受け修正していくことができるのは実技講習の大きな利点と考える。実際に左室長軸像が斜めに描出されている場合の対処法や心尖部二腔像の乳頭筋の映り方など、細かい点についての指摘を受け、参加者はより適切な画像が描出できるようになっていた。

民間がおこなっているハンズオンセミナーの相場は2万円以上となることが多いことから、埼臨技で低価格で開催できたことは会員への大きな利点であるといえる。参加登録開始初日で満員となったことは高い需要の表れであると考えている。開催にあたり理事の皆様の理解や講師、スタッフの協力なしでは開催できなかった。この場を借りて感謝申し上げる。昨今、中途の臨床検査技師の募集要項に超音波検査スキルの条件の記載を多く目にする。生理検査研究班としても超音波検査スキルの持った技師の養成は急務であると考えている。より多くの会員に、より実践的な技術を習得してもらえよう今後も超音波検査のハンズオンセミナーを多く開催したい。

提出日：2024年7月13日

文責：南雲涼太